

企画展

j MBIO 海洋生物を究める！

—JAMBIO 沿岸生物合同調査の紹介—

海洋生物の多様性は謎に満ちており、海には人類がまだ出会ったことのない未知の種がたくさん存在します。私たちは、調査があまり進んでいない日本の沿岸域に生息する種々の小さな動物の採集を目的として、並行採集を中心にした、全国から研究者を集めて2014年から計22回のJAMBIO 沿岸生物合同調査を行いました。しかし、採集コプロットへの入力の進捗がなかなか進まないなか、2019年12月以降、本調査が実施できない状況が続いています。私たちはこの課題を解決するために、この種を巡りこれまででの結果をまとめ、その成果をみなさまへ発信する特展と見聞会を開催しました。この企画展を通して、皆様、目にすることのない珍しい種々や写真に載せていたまま、海の生き物への興味を深めていただくことを目指しています。

令和3年2月9日(火)～
会場：観音崎自然博物館

制作
 中野祐希 (筑波大学下田臨海実験センター)
 幸塚久典 (東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所)
 磯崎幸延 (筑波大学下田臨海実験センター)

監 査 人 (地区大学理事部)
 大曾悠司 (山形県立「フオーク」海と大地の自然館)
 自見透人 (国立環境研究所生物圏研究グループ)
 鈴木敦子 (筑波大学下田臨海実験センター)
 広瀬雅人 (北里大学海浜生命科学部)
 宮崎勝己 (筑波大学理学部)

共催：マリンバイオサイエンス連携機構 (JAMBIO) 観音崎自然博物館

JAMBIO

j MBIO



2014年から22回のJAMBIO 沿岸生物合同調査を実施し、多くの未知の種を発見しました。この成果をみなさまへ発信する特展と見聞会を開催しました。この企画展を通して、皆様、目にすることのない珍しい種々や写真に載せていたまま、海の生き物への興味を深めていただくことを目指しています。

MEMBER JAMBIO

メンバー



2014年から22回のJAMBIO 沿岸生物合同調査を実施し、多くの未知の種を発見しました。この成果をみなさまへ発信する特展と見聞会を開催しました。この企画展を通して、皆様、目にすることのない珍しい種々や写真に載せていたまま、海の生き物への興味を深めていただくことを目指しています。

JAMBIO 沿岸生物合同調査

2014年から22回のJAMBIO 沿岸生物合同調査を実施し、多くの未知の種を発見しました。この成果をみなさまへ発信する特展と見聞会を開催しました。この企画展を通して、皆様、目にすることのない珍しい種々や写真に載せていたまま、海の生き物への興味を深めていただくことを目指しています。

調査内容

採集方法

採集結果

見聞会

お問い合わせ





JAMBIO
World Association of
Marine Biologists (マリン生物学者の国際協会)
結成された約2年間の活動を経て、再始動の活動となる新たなJAMBIOがスタートしました。

JAMBIO MEMBER

JAMBIOメンバー

2019年10月、JAMBIOは約2年間の活動を経て、再始動の活動となる新たなJAMBIOがスタートしました。この新たなJAMBIOは、世界中の海洋生物学者が一堂に会し、最新の研究成果を共有し、協力を進め、海洋生物の保全と持続可能な利用を推進することを目的としています。



日本全国のJAMBIOメンバーの分布図。北海道から沖縄まで、全国各地にメンバーが点在しています。

JAMBIO 沿岸生物合同調査

沿岸生物の多様性を調査し、その分布と生態を明らかにすることを目的とした合同調査を実施しています。調査結果は、海洋生物の保全と持続可能な利用に貢献しています。



相模湾

相模湾の生態系とその重要性について詳しく解説しています。湾内には多様な生物が生息しており、その保全は地域の環境と経済に不可欠です。



A long, low display case containing various marine biology specimens and equipment. On the left, there is a large, rusted metal cage with a chain, likely used for collecting specimens. Next to it are several green mesh traps and a white net. In the center, there is a green gas cylinder and a red oxygen tank. To the right, there are several informational brochures and a small metal table with more brochures. The background wall is dark green and features several informational panels.

動物標本



動物標本

動物標本





組換えDNAのイメージ

組換えDNA技術は、異なる生物のDNAを人為的に組み合わせて、新しい遺伝子型を持つ生物を創出する技術である。この技術は、遺伝子工学の基礎となる重要な技術であり、医療、農業、工業など幅広い分野で応用されている。

組換えDNA技術の歴史は、1970年代に始まった。この技術は、DNAの切断と再接合を可能にする酵素（制限酵素とDNAリガーゼ）の発見によって実現された。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術の応用は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

A B C D E

組換えDNA技術のイメージ

組換えDNA技術は、異なる生物のDNAを人為的に組み合わせて、新しい遺伝子型を持つ生物を創出する技術である。この技術は、遺伝子工学の基礎となる重要な技術であり、医療、農業、工業など幅広い分野で応用されている。

組換えDNA技術の歴史は、1970年代に始まった。この技術は、DNAの切断と再接合を可能にする酵素（制限酵素とDNAリガーゼ）の発見によって実現された。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術の応用は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術のイメージ

組換えDNA技術は、異なる生物のDNAを人為的に組み合わせて、新しい遺伝子型を持つ生物を創出する技術である。この技術は、遺伝子工学の基礎となる重要な技術であり、医療、農業、工業など幅広い分野で応用されている。

組換えDNA技術の歴史は、1970年代に始まった。この技術は、DNAの切断と再接合を可能にする酵素（制限酵素とDNAリガーゼ）の発見によって実現された。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術の応用は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術のイメージ

組換えDNA技術は、異なる生物のDNAを人為的に組み合わせて、新しい遺伝子型を持つ生物を創出する技術である。この技術は、遺伝子工学の基礎となる重要な技術であり、医療、農業、工業など幅広い分野で応用されている。

組換えDNA技術の歴史は、1970年代に始まった。この技術は、DNAの切断と再接合を可能にする酵素（制限酵素とDNAリガーゼ）の発見によって実現された。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

組換えDNA技術の応用は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。組換えDNA技術は、遺伝子の機能を解析し、新しい遺伝子型を創出するための強力なツールを提供している。

A B C D E

